

---

# までいかるまでいっく

涙傘

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

までいかるまでいつく

### 【Nコード】

N8553Y

### 【作者名】

涙傘

### 【あらすじ】

めくさきみあ  
巡崎彌亞は魔術師見習い。

今日から冬休みが始まる。というところで出された宿題？は『脱獄囚を捕まえる《殺害する》』というものだった・・・。

## 一話目

別次元の「せいおうさいまど聖桜彩魔道学院」の二年生教室。

人間界と同じように冬休みが始まるうとしているせいか、最初はヒソヒソとしていた話し声が、一限目のベルが鳴る頃には他の教室にも伝染していた。

机で魔術のおさらいをしていた私の前で、茶髪の髪にピアスをした少年　　れいまかい鈴真恢が話しかけてきた。

「なあなあ、冬休みまた宿題あると思うか？俺さー、ないと思うんだよねー。って・・・聞いているか？」

「あ、ゴメン。聞いてなかった」

否、無視をしたのほうが正しいだろう。一回喋ると注意するまで話が止まらないのが鈴真の悪いところだ。

「ったくよー。だから、冬休みは宿題あるかって聞いてんの。どう思う？」

「あー、あの校長のことだし・・・あるんじゃない？」

「おまえって現実主義リアルすぎて人の夢ぶち壊すよな・・・」

「はああああ！！？？？意味分かんない！そっちが悪いんじゃないか！！」

現実主義リアルという言葉が私は大嫌いだ。実際に現実逃避が多いのが私だからだ。過去を振り返っても現実逃避しかしてないような気が・  
・しないでもない。

騒がしい教室の中に入ってきた担任・フェル先生はしわくちやのおじいさんで、最近は歳なのか何かによく躓いている。そして生徒からは信頼されている。そんな200歳。

「皆さん、今日から冬休みになりますねえ。皆さんは人間界に降りて羽根を伸ばすでしょうが、手伝ってもらいたいことが一つあるのです」

先生が指を振ると、机に一枚の手紙が浮き出た。それにはこう書いてあった。

『全国の魔術師。または魔術師見習いに命令する。

現在、監獄から脱獄した凶悪死刑囚が魔術師と発覚したことを受けて、我が校がこれ以上被害者を出さないために、彼らを捕まえる《殺害する》方針にいたった。

詳細は担任の魔術師から聞くように』

確かに、この間テレビで言っていた。『元魔術師が人間界で一般人を殺害』と。しかし・・・殺害までするのか・・・。まあ死刑囚だしな。捕まえて突き出しても寿命が二ヶ月くらい延びるだけで最後にはどうせ死ぬんだ。関係ないか。

「犯人は人間界にいますので、丁度良いかと思ひましてね。貴方達にも手伝ってもらおうと思います。ただ・・・相手は魔術師なので、油断はしないでください。それでは、私からの話は終わります」

担任がそう言った後、ほとんどの人間は喋りも、動きもしなかった。  
休めれないという失望と、人を殺すという恐怖と、殺されるかもと  
いう恐怖。

私は鈴真の腕を持って、教室を出た。

本日、冬休みの始まりの日。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8553y/>

---

までいかるまでいく

2011年11月25日18時49分発行